



# エコ・ファーストの約束

～ 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み ～

2018年8月7日

環境大臣 中川 雅治 殿

東洋ライス株式会社  
代表取締役

雑賀 慶二

私たち東洋ライス株式会社は、稲作の土づくりから炊飯以後まで、お米の全工程に関する総合メーカーとして日本のコメ文化の向上に努めるとともに、国民の健康増進と環境負荷の低減に努め、持続可能な循環型社会の形成に貢献するため、以下の取り組みを推進してまいります。

## 1. BG 無洗米の普及を通じて、環境負荷の低減に貢献します。

■BG 無洗米の普及に努め、CO<sub>2</sub> 排出削減量を2021年度に2006年度比で32%増やします。

・東洋ライスが開発したBG 無洗米製造装置で加工された無洗米は、製造エネルギーを普通米使用時の上水・下水処理のエネルギーとでCO<sub>2</sub> 排出量を比較すると、約5分の1になります。その普及により、CO<sub>2</sub> 排出削減量を2021年度に2006年度比で32%増やします。

■より環境負荷の少ない新型BG 無洗米製造機への入替を進め、国内のエネルギー削減貢献量の最大化に努め、2021年度に全てのエネルギー消費量を2010年度比30%削減します。

・現在全国に設置されているBG 無洗米機は80台稼働しています。うち68台が省エネタイプです。2021年までに残りの旧型機を省エネタイプにし、2010年度比全てのエネルギー消費量を30%削減します。

■BG 無洗米の普及により、汚濁物質・エネルギーの削減量を2021年度に2006年度比21%増やします。

・BG 無洗米の消費量増加により汚濁物質(BOD、COD、リン、チッソ等)の発生が削減されます。一方、BG 無洗米を加工する際のエネルギーは、とぎ汁処理にかかるエネルギーの約1/2以下。トータルで比較してBG 無洗米のほうが環境負荷が小さくなります。BG 無洗米の普及により、2021年度に2006年度比で汚濁物質・エネルギーの削減量を21%増やします。

## 2. 無洗米製造時の副産物をリサイクル利用し、より良い作物づくりに利用します。

※弊社は食品リサイクル法に基づく再生利用等実施率100%を目標にしております。

■当社独自のBG方式による無洗米製造時に産出される副産物「米の精」のリサイクル利用(肥料、飼料に使用)を推進して循環型社会の形成に貢献します。「米の精」の利用量を2021年度に2006年度比21%増やします。

・BG 無洗米製造時に取り除いた肌ヌカは、「米の精」という商品名で有機質肥料・飼料として活用されています。一般のヌカと比べるとリン、チッソがバランス良く、またミネラルが豊富に含まれている特質があり、稲や野菜、家畜の飼料など多岐にわたり使われております。「米の精」の利用量を2021年度に2006年度比で21%増やします。

・BG 無洗米の原料として、「米の精」によって栽培した米を使用し、今後もリサイクルループを推進します。(現在の使用量は自社工場で250トン)

## 3. 自然環境の保護や生物多様性の保全のための環境教育を推進します。

■生物多様性の保全のための活動や、「改正環境教育推進法」を推進する活動を積極的に展開します。

・2012年より東洋ライスが中心となり、環境省及び財団法人日本環境協会との連携のもと、大学などと共に推進する環境教育プロジェクト「いきものみつけファーム」を通じて、環境体験の場や環境教育の場を提供しています。

東洋ライス株式会社は上記取組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

人も自然もすこやかに  
東洋ライス